

みどりをさがしにでかけよう

No.
10

2020/ 1

ちが咲き



学生目線で考える 人と自然とふれあうということ

こんにちは。慶應義塾大学一ノ瀬研究会ちが咲き班です。今号は私たちが昨年10月に企画したイベント「まいパーク Project」をご紹介します。

10月6日（日）に辻堂西口の赤松どんぐり公園にて、木の実を使った秋らしいイベントを行いました。赤松どんぐり公園の隣にある「YU-ZU ルーム」を運営する「一般社団法人辻堂西口 YU-ZU ルーム」の協力のもと、「YU-ZU マルシェ」と同時の開催とすることで、多くの子どもたちに参加してもらうことができ、たくさんの笑顔を見ることができました。本号ではその様子をお届けいたします。

茅ヶ崎市都市部景観みどり課・環境部環境政策課・建設部公園緑地課

まいパーク Project

in 赤松どんぐり公園

公園という身近な場所で、人や自然とより触れ合える企画を提案する「まいパーク Project」。今回は、赤松どんぐり公園にて YU-ZU ルームの方々の協力のもと、2つのブースを開催しました。

自然の材料で写真立て作り

どんぐりや松ぼっくりなど 10 種類程の自然の材料を使って、オリジナル写真立て作りに挑戦しました。まずは好きな木の実を自由に選び、思い思いのデザインで貼り付けていきます。



クヌギとコナラのどんぐりの大きさの違いに驚いたり、松ぼっくりの種を観察したりと、秋の自然を作業の中で楽しく学ぶことができました。

そして、どんぐりに顔を描いてみたり、ペンで色を塗ってみたりと、可愛らしい工夫が散りばめられた個性豊かな写真立てが完成しました。



木の実運びゲーム



お箸を使って、木の実を素早く移動させるゲームです。幼稚園生の子どもたちにはまずはお箸の使い方の練習から始めてもらいましたが、最後には一人でゲームを成功させられる子も現れるほど、予想以上の上達を見せてくれました。

小学生の子どもたちは、大きな松ぼっくりから小さな胡椒の粒まで様々な難易度に挑戦していました。友達と競争したりと多くの子供たちが熱中して楽しんでくれ、企画は大盛況で幕を閉じました。



参加者の感想

身近な公園にも小さな自然はたくさん隠れています。普段と違う視点で公園を利用してみてもいいかなですか？

今後も自然と人がもっと触れ合えるような企画をたくさん紹介していきます。次のイベント紹介を楽しみにしてください。

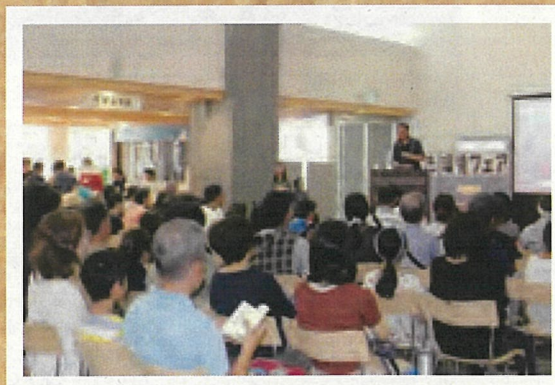
- ・自然に触れながら、自分で自由にデザインを考えることができてよかった
- ・普段の生活ではなかなかできないことで貴重な経験ができた

ちがさき環境フェア 2019 を開催しました

令和元年10月5日（土）、市役所、総合体育館前庭で「未来へつなごう！環境にやさしいまち」をテーマに、楽しみながら未来の暮らしと社会のために自分たちでできることを発見できるイベント「ちがさき環境フェア2019」を開催しました。

五箇先生トークショー

今回のスペシャルイベントは、“昆虫博士”五箇公一先生を招いたトークショー『クワガタムシが語る生きもののつながり』。身近な生きものを通して生物多様性についてや外来生物と私たちの暮らしとの関わりについて分かりやすくお話いただきました。



間伐材つみ木で遊ぼう

今年初めての企画として、森林保全のために間伐が必要であることを知ってもらうため、3000個の間伐材で出来た積み木で遊べるコーナーを設けました。子ども達は思い思いに作品を作っていました。会場には木の爽やかな香りが広がりました。

また、間伐に関するパネル展示も行い、間伐の必要性についてPRしました。



環境フェアをきっかけに、私たち一人ひとりが、環境を良くするためにどんなことができるのか考え、取り組んでいただけたら嬉しいです。次回もご来場をお待ちしています。